

スピリチュアル物語

51話 by 魔女ともえ

この『スピリチュアル物語』は、BRIDGE USAさんよりお引越しました

魔女ともえ

ミステリースクールよりイニシエーションを受けた全米初の日本人魔女。チャネリング、白魔術、過去世リーディング、オーラ診断、浄化などを通じて、人々の幸せをサポート。ヘリと小型機のパイロット免許を持つユニーク魔女。

トランスマリ奥特内スターボックス(要予約):1時間 \$60

メール相談:(要予約):majyotomoe@gmail.com \$16/1件(Paypal)



「人間関係って難しいよな」ウイザットがボソッと呟く。「そうじゃな。人はどうしても自分サイドからしかものを見るこゝとが出来ないからのう」マグワートが頷きながら答える。「でも、相手の立場になつて思いやりを持つことは出来るわ」マジョリアルが反論。「うゝん。それはそうじゃが、その相手の立場になつて、というスタンスも、自分の物差しで相手の立場になつていゝと思ひ込んでゐるだけじゃ。つまり、どう足掻いても人は完全に相手の立場にはなれないし、よつて相手の本当の気持ち解らないものじゃ」そんなこと言つたら身も蓋もないぜ。じゃあ、人間は誰とも心が通じないじゃない

か。そんな孤独な生き物なのかい？」ウイザットが憤慨した様子を見せる。「そうよ。どうせ完全には相手の立場にはなれず、気持ちも解らないなんていう考え方、悲しすぎるわ」マジョリアルも落胆の色を見せる。「いやいや、ワシが言ひたいことはそこにポイントは無ゝ。つまり、人間はどゝう足掻いても完全には相手の立場にはなれないし、相手の本当の気持ち解らない、ということを知つてゐることが重要だ、と言ひたいんじや。要するに、相手の立場になつて相手の気持ち解つてゐる、そして自分はその様な相手の為ゝ、思ひやり溢れた言動をしてゐる、と勘違ひしない為の知恵じやよ。人は

完全に相手を解つてゐない、ということを知つてゐれば、逆に相手の立場や気持ちをこちらの物差しで決め付けないで、よりもつと相手の立場になろう、少しでも何とかがして相手の気持ちに真に理解しようとするライすることに繋がるじやろ？それは自分ならどうするの、とか、何故そうしてくれないんだ、という疑問や怒りの解決にも繋がるんじや」



★これまでのお話(1~50話)は魔女ともえのwebで読むことができます。

www.majotomoe.com 1月19日号につづく!